

位置図

工事箇所

特記事項 (工事概要)

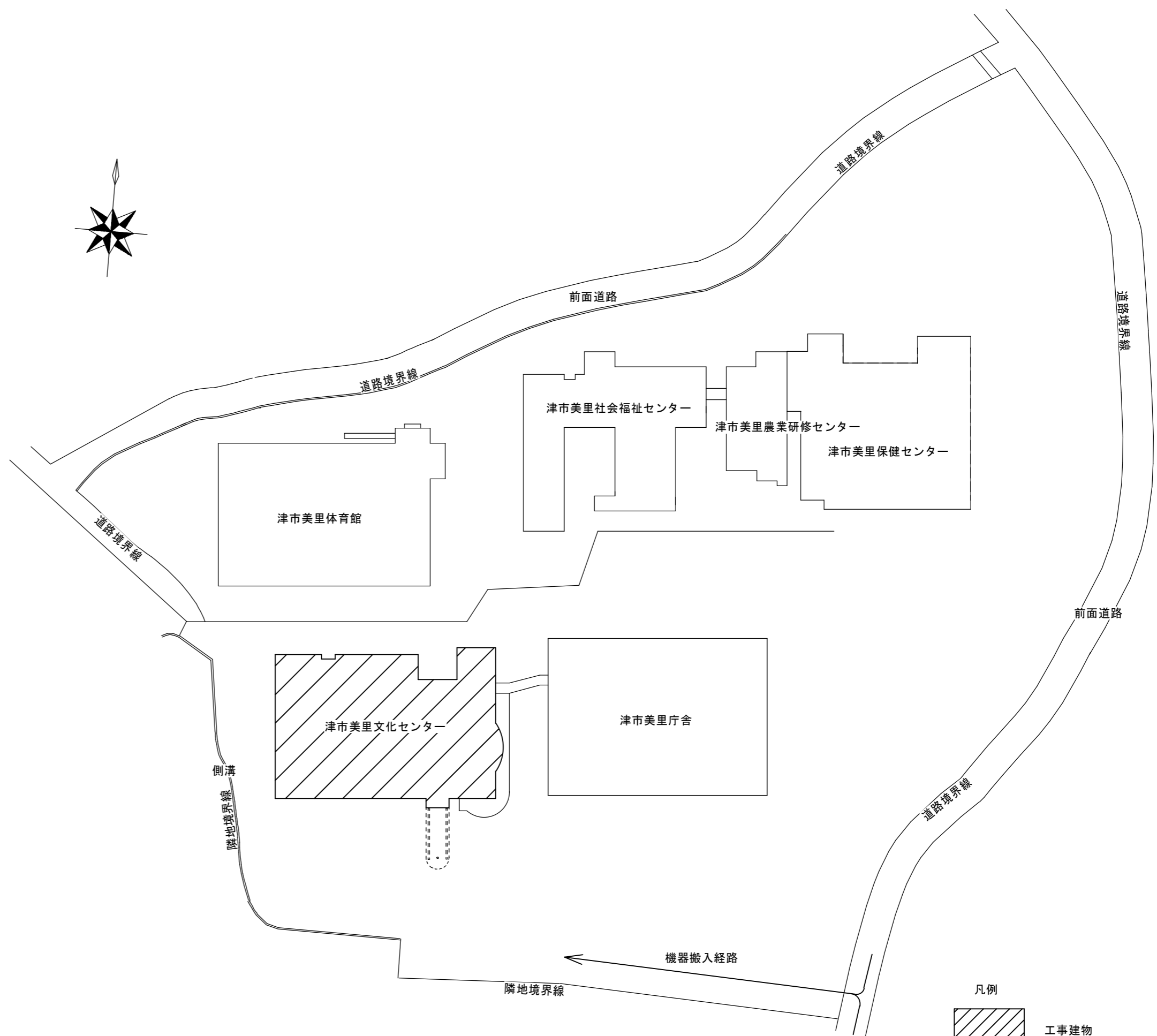
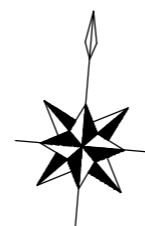
- ・既設の空調設備を撤去の上、機器の新設を行う。
- ※更新箇所は図示による

(施工条件)

- ・契約締結後速やかに詳細な工程を調整の上決定すること。
- ・作業着手までの期間に調査及び、施工計画書等を作成し、市監督員の承諾を得ること。
- ・作業着手までの施設内調査は、事前に市監督員の承諾を得るものとし、施設運営に影響を与えない範囲とする。
- ・工事期間中も施設を利用するため、安全対策には十分配慮すること。なお、内部作業については、施設運営に支障をきたさないよう監督員、施設管理者と打合せをし、工事の日程を決めること。
- ・大型車両の出入りの際には誘導員を配置すること。
- ・作業着手前には、現況状況把握の為に破損箇所等あれば、写真に記録しておくこと。また、工事過程に於いて既設施設に破損等を与えた場合は、受注者の負担に於いて速やかに復旧すると共に市監督員に報告をすること。
- ・設計書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。
- ・工用水、電力については既存の施設を無償で利用できる。但し、施設運営に影響しないよう事前に打合わせのうえ計画し施工すること。
- ・工用車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。
- ・図書館内の工事については、休館日に施工を行うこと。
- ・受注者は再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合は、工事着手及び 工事完了後に「再生資源利用計画書(実施書)」、「再生資源利用促進計画書(実施書)」を監督員に提出することとし、工事着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータ入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。

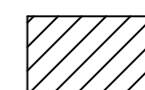
(解体撤去処分)

- ・本工事により発生する廃材は、産業廃棄物となるため関係法令により適切に処理すること。
- また、工事着手前に、施工方法を記した施工計画書を市監督員に提出し承諾を得ること。
- ・工事完了後、マニフェストA、B2、D票を市監督員に提示すること。
- ・当該工事を施工するに当たって施工時にフロン類の充填、回収作業を伴う場合は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(平成27年4月1日施行)等の関係法令を遵守し、第1種フロン類充填回収登録業者が行うこと。



配置図 S=1/800

凡例

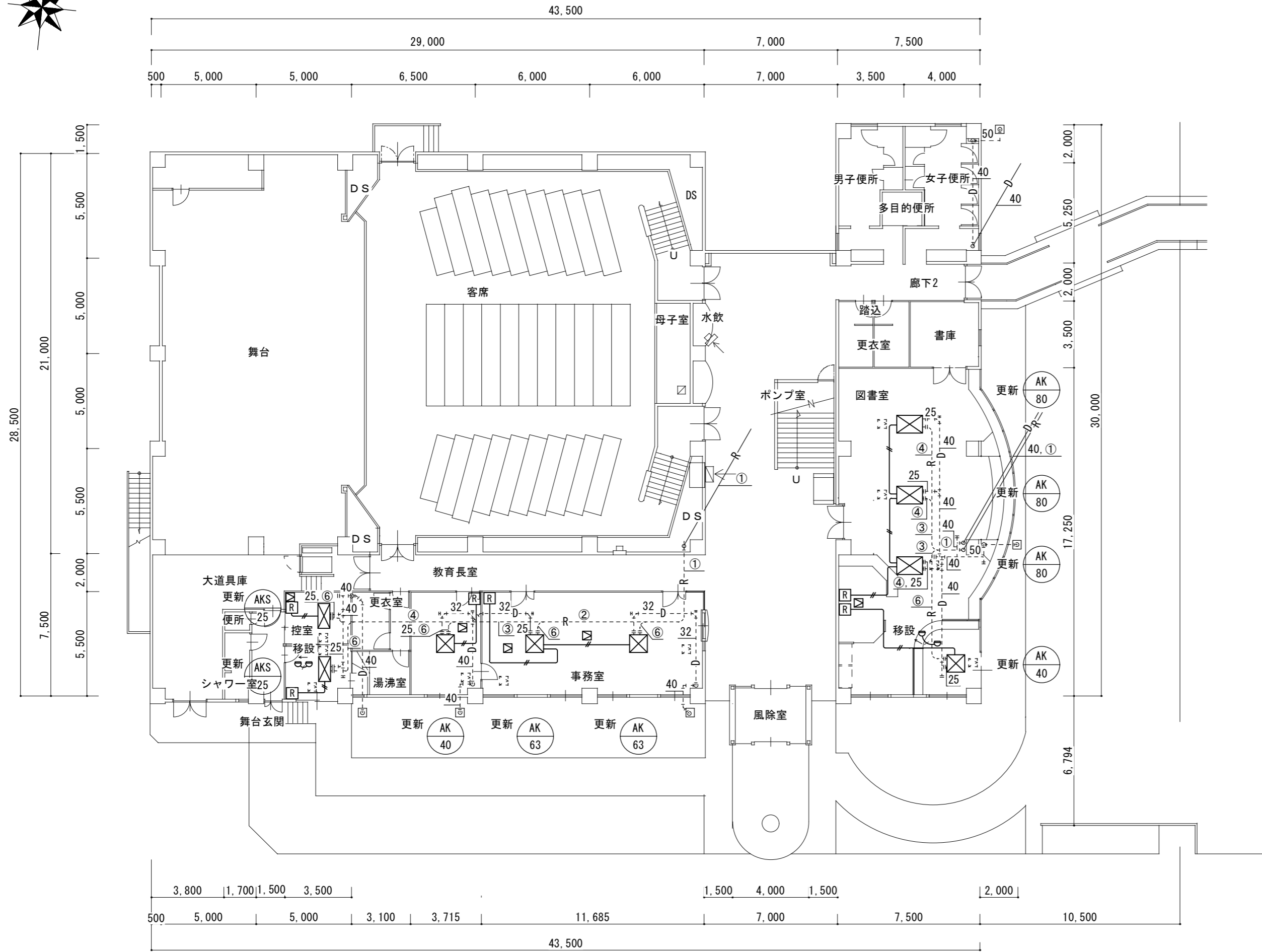
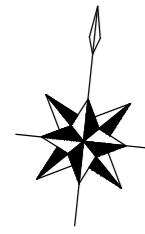


工事建物

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による

- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
- 「公共建築工事標準仕様書(建築、電気、機械設備工事編)平成31年版」
- 「公共建築改修工事標準仕様書(建築、電気、機械設備工事編)平成31年版」
- 「公共建築設備工事標準図(電気、機械設備工事編)平成31年版」
- 「建築、電気、機械設備工事監理指針令和元年版」
- 独立行政法人 建築研究所監修
- 「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」

津市美里文化センター空調設備改修工事		縮尺 1/800
図面名称	位置図・配置図・特記事項	原図：A2
津市建設部営繕課		No. 1/4



1階平面図 S=1/200

凡例	
—	新設配管
- - - - -	現状維持配管
- - - - - -	現状配管・新設配管接続部分
— R —	冷媒管
— D —	ドレン管
— / —	AE1.2-4C (ころがし)
— // —	CVVS1.25-2C (ころがし)
⊖	感知器
Ⓜ	リモコン
⊠	新設天井点検口 (450×450)
⊞	既設天井点検口 (450×450)

※保温仕様は以下とする。
冷媒管 屋外露出：ポリスチレン保温筒+SUSラッキング仕上げ
※感知器の移設跡はカバープレートを設置すること。

冷媒管リスト		
記号	液管	ガス管
①	φ12.7	φ28.6
②	φ12.7	φ25.4
③	φ12.7	φ19.05
④	φ9.52	φ19.05
⑤	φ9.52	φ15.9
⑥	φ9.52	φ12.7
⑦	φ6.35	φ15.9
⑧	φ6.35	φ12.7

空調用保温付被覆銅管
保温厚 液管：10mm (ただし、φ10未満は8mm)
ガス管：20mm

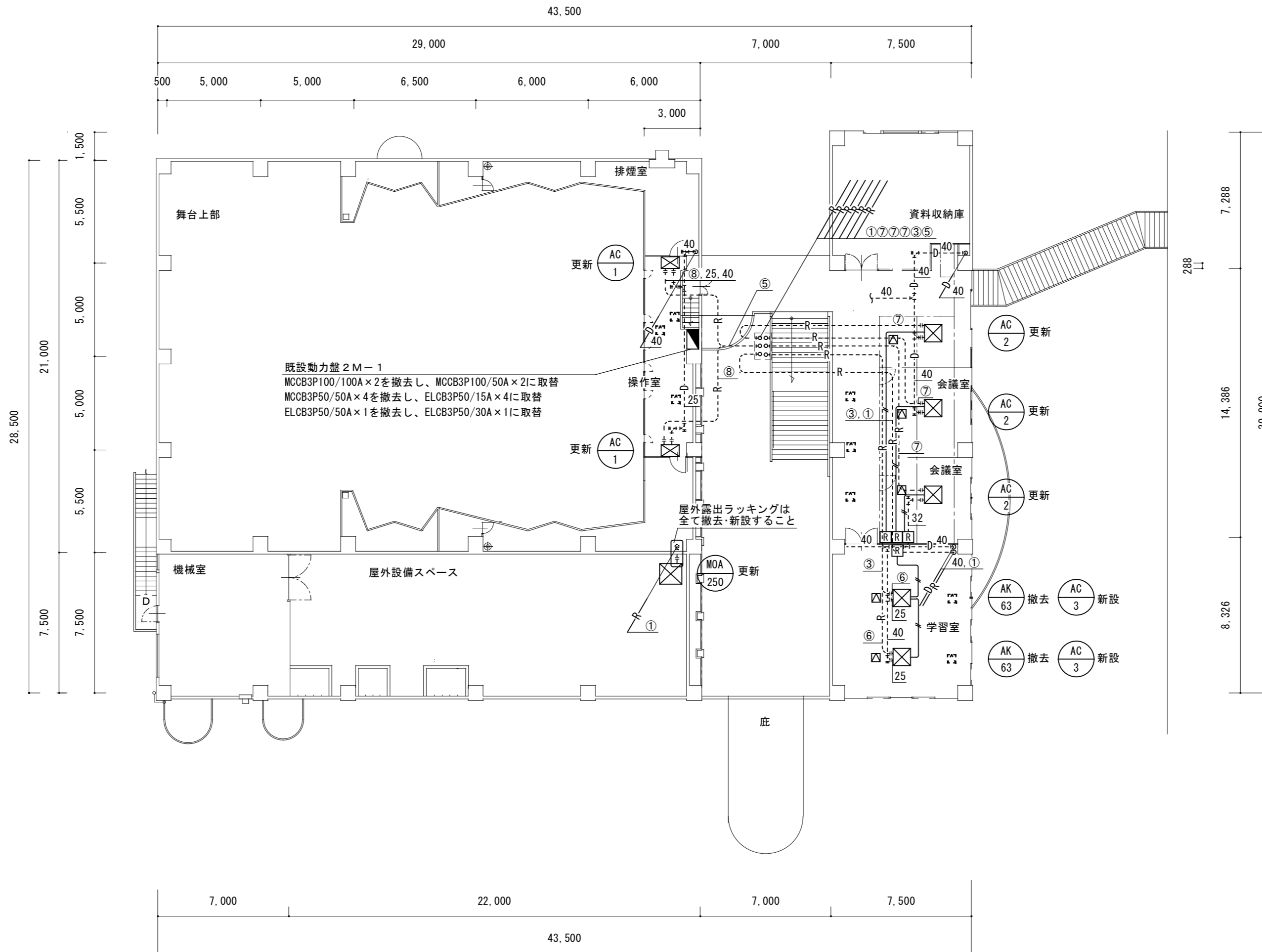
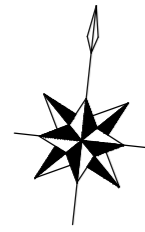
空調設備改設工事要領	
1.	空調室内外機の撤去新設をおこなう。
2.	室外機はSUS製プレートにて固定、Wナットにて締付けの事。アホはケガリカケ仕様。
3.	冷媒管、室内外連絡線は既設利用とする。
4.	ドレン管は撤去した機器に接続されていた既設配管に接続する。
5.	ドレン管は切離し後、新設機器接続まで養生しておくこと。
6.	既設のワイヤードリモコンを撤去し、カバープレートを取付ける。
7.	リモコン配線は新設とし、露出部はプレートにて配線すること。

空調機器表 (撤去) 空冷ヒートポンプ式			
記号	形式・名称	仕様	台数
MOA-250	ビル用マルチエアコン	冷房能力：25,000Kcal/H 暖房能力：28,000Kcal/H 3φ200V	2
	室外機		
MOA-125	ビル用マルチエアコン	冷房能力：12,500Kcal/H 暖房能力：14,000Kcal/H 3φ200V	1
	室外機		
AK-80	ビル用マルチエアコン	冷房能力：8,000Kcal/H 暖房能力：9,000Kcal/H 3φ200V	3
	室内機 (天カセ形4方向)		
AK-63	ビル用マルチエアコン	冷房能力：6,300Kcal/H 暖房能力：7,100Kcal/H 3φ200V	4
	室内機 (天カセ形4方向)		
AK-40	ビル用マルチエアコン	冷房能力：4,500Kcal/H 暖房能力：4,500Kcal/H 3φ200V	2
	室内機 (天カセ形4方向)		
RC	ワイヤードリモコン		7
AKS-25	ビル用マルチエアコン	冷房能力：2,500Kcal/H 暖房能力：2,800Kcal/H 3φ200V	2
	室内機 (天カセ形2方向)		
AC-1	パッケージエアコン	冷房能力：7.1kW 暖房能力：8.0kW 3φ200V	1
	壁掛け形ツイン	ワイヤレスリモコン、リモコンホルダー	
AC-2	パッケージエアコン	冷房能力：5,000Kcal/H 暖房能力：5,600Kcal/H 3φ200V	3
	天井カセット形4方向	ワイヤードリモコン	

空調機器表 (新設) 空冷ヒートポンプ式			
記号	形式・名称	仕様	台数
MOA-250	ビル用マルチエアコン	冷房能力：28.0kW 暖房能力：31.5kW 3φ200V	2
	室外機	消費電力 冷房：9.14kW 暖房：9.62kW 暖房最大：20.4kW 基礎：既設基礎流用	
AK-80	ビル用マルチエアコン	冷房能力：8.0kW 暖房能力：9.0kW 1φ200V	3
	室内機 (天カセ形4方向)	標準パネル、リニューアル用ワイドパネル	
AK-63	ビル用マルチエアコン	冷房能力：7.1kW 暖房能力：8.0kW 1φ200V	2
	室内機 (天カセ形4方向)	標準パネル、リニューアル用ワイドパネル	
AK-40	ビル用マルチエアコン	冷房能力：4.5kW 暖房能力：5.0kW 1φ200V	2
	室内機 (天カセ形4方向)	標準パネル	
AKS-25	ビル用マルチエアコン	冷房能力：2.8kW 暖房能力：3.2kW 1φ200V	2
	室内機 (天カセ形2方向)	標準パネル、リニューアル用ワイドパネル	
RC	ワイヤードリモコン		6
AC-1	パッケージエアコン	冷房能力：7.1kW 暖房能力：8.0kW 3φ200V	1
	壁掛形ツイン	ワイヤレスリモコン、リモコンホルダー	
AC-2	パッケージエアコン	冷房能力：5.6kW 暖房能力：6.3kW 3φ200V	3
	天井カセット形4方向	標準パネル、ワイヤードリモコン	
AC-3	パッケージエアコン	冷房能力：14.0kW 暖房能力：16.0kW 3φ200V	1
	天井カセット形4方向ツイン	標準パネル、ワイヤードリモコン	

(注記)
運転特性、能力はJIS条件による。電源容量値は参考とする。空調機トランシーバー基準改定仕様とする。
冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。室外機-室内機間の2次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。
リモコン配線共本工事とする。室外機・室内機共耐震振れ止め、転倒防止を施す事。機器は同等品以上とする。
機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。 但し該当しない機器については製造者標準仕様による。

津市美里文化センター空調設備改修工事		縮尺	1/200
図面名称	1階平面図・機器表	原図	A 2
津市建設部営繕課		No.	2/4



凡例	
—	新設配管
- - -	現状維持配管
- - -	現状配管・新設配管接続部分
— R —	冷媒管
— D —	ドレン管
— // —	CVVS1.25-2C (ころがし)
[R]	リモコン
[X]	新設天井点検口 (450×450)
[X]	既設天井点検口 (450×450)

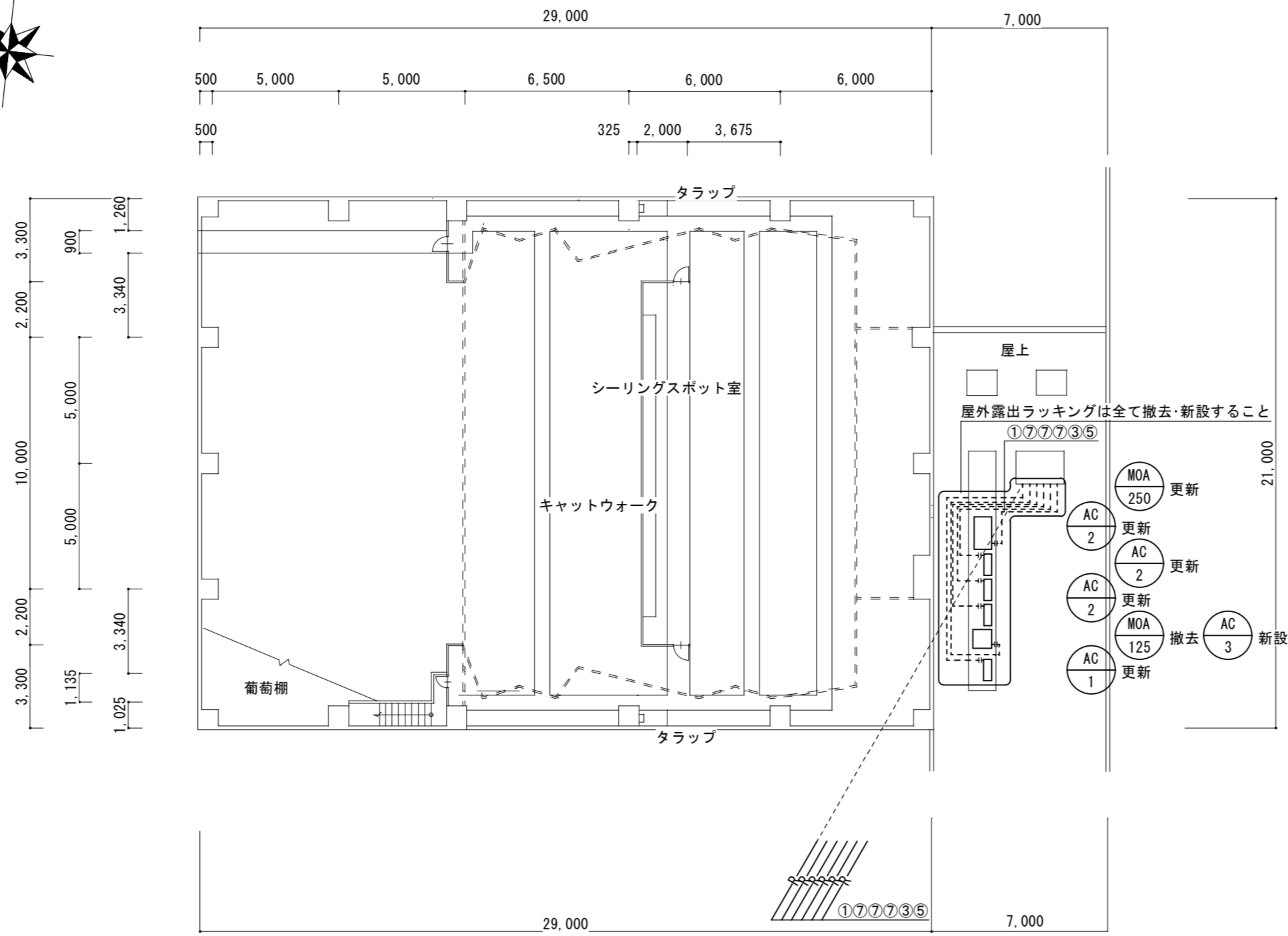
※保温仕様は以下とする。
冷媒管 屋外露出：ポリスチレン保温筒+SUSラッキング仕上げ

冷媒管リスト		
記号	液管	ガス管
①	φ12.7	φ28.6
②	φ12.7	φ25.4
③	φ12.7	φ19.05
④	φ9.52	φ19.05
⑤	φ9.52	φ15.9
⑥	φ9.52	φ12.7
⑦	φ6.35	φ15.9
⑧	φ6.35	φ12.7

空調用保温付被覆銅管
保温厚 液管：10mm (ただし、φ10未満は8mm)
ガス管：20mm

2階平面図 S=1/200

津市美里文化センター空調設備改修工事		縮尺 1/200
図面名称	2階平面図	原図：A 2
津市建設部営繕課		No. 3/4



凡例	
———	新設配管
- - - - -	現状維持配管
- - - - - -	現状配管・新設配管接続部分
— R —	冷媒管
— D —	ドレン管
— // —	CVVS1.25-2C (ころがし)
[R]	リモコン
[□]	天井点検口 (450×450)

※保温仕様は以下とする。
 冷媒管 屋外露出：ポリスチレン保温筒+SUSラッキング仕上げ

冷媒管リスト		
記号	液管	ガス管
①	φ12.7	φ28.6
②	φ12.7	φ25.4
③	φ12.7	φ19.05
④	φ9.52	φ19.05
⑤	φ9.52	φ15.9
⑥	φ9.52	φ12.7
⑦	φ6.35	φ15.9
⑧	φ6.35	φ12.7

空調用保温付被覆銅管
 保温厚 液管：10mm (ただし、φ10未満は8mm)
 ガス管：20mm

津市美里文化センター空調設備改修工事		縮尺 1/200
図面名称	3階平面図	原図：A 2
津市建設部営繕課		No. 4/4